

---

# 同僚

ヤマダゴロウ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

同僚

### 【Zコード】

N2120A

### 【作者名】

ヤマダゴロウ

### 【あらすじ】

急に痛みだした右胸。ホラー?のみたいな、不思議話。怖くないですか。

## 右胸が痛い

異変に気付いたのは三日前の正午過ぎ

その時はまだ、ちくりとした。ほんの些細なものだった。  
だが、次第にその痛みは右胸から胃・腸・腎臓…と広がり、痛み  
はがつんがつんと叩かれていくような感覚に変わつていった  
「痛え…。」

一人、部屋でうずくまる。

いたいいたいいたい。

この痛みのせいで眠れない夜もあった  
叫び出したくて泣きたくなつたが、必死にこらえて平静を装つ。  
辛くて死にたくなつた。  
そして怖くなる。  
怖くて怖くて仕方がない。この痛みは何なのか…と。

ある日（正確には、痛みが左足にまで達した日）俺はある事に気が付いた。

ここまで来てソレに気付くなんて、とてもまぬけな話かもしれないのだが。

左胸に何も感じないのだ。

これほどの激しい痛みに襲われても、左胸だけは何も感じていなかつたのだ。

ぽかりと穴が空いたように

「病院行つた方がいいんじゃねえ?」

同僚が声をかけてきた。

俺の顔色があまりにも悪かつたせいだらう。

「いや、だいじょうぶ。」

「…に、見えないから言つてんだが?」

「心配症だな…。」

「お前なあ…心配もするさ。」

同僚の気遣いが嬉しかった。だが俺は、病院に行くことを拒んでいた。

怖かったのだ。

「病院行つたつてなあ…。」

「ん?」「どうせ、たいしたことないって言われるのがオチだ。」

俺はそう言つて軽く笑つてやつた。

「なあ、ところでさ。この書類…。」

同僚は未だ心配そうに俺を見つめたが、俺は気付かない振りをして、話を進めた。

右胸がずきずきと痛む。

いたいいたいいたいいたいいたいいたいいたいいたいいたいいたい。

「おまえ…本当に大丈夫かよ?」

同僚が俺の肩を擦る。

「あ…ああ。」大丈夫だと、右手を立てる。

「そんな顔色を悪くして、大体おまえは…。」

同僚が何かを言つている。

ああ、駄目だ。聞こえない。

ふと、時計を見たら正午を丁度過ぎた所だつた。

ああ、右胸が痛い……。

俺は左胸を押さえた。

ざりと鈍い音がし、全身が引き裂かれるよつに痛い。

たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。たい。

ああでも……。

左胸は痛くない。

## 同僚が倒れた。

割と親しくしていた奴で、そいつといふと時間があつといふ間に過ぎ、楽しくて仕方がない。

そいつが、目の前で倒れた。

私は慌てて同僚を病院まで連れて行つた。

… 救急車を呼べば良かったのだと、今になつて思ひ。

今朝会った田中君の顔色が悪しかった。『思ってました』

か  
？

医者「りしき人物が、おやるおやる声をかけてきた。

「あ…はい。」

「あの、2・3お伺いしたいことが…」

医者は、重々しく口を開いた。

心臓が止まっているという。  
状態から見て、3日前から。

「こんな事はありえない」と、医者は語った。

他に誰も居ない病室で、俺は息を吹き替えた。  
何だかよく分からぬが、俺はまだ生きているらしい。  
心臓の辺りを右手で掴んだ。  
良かった。俺はまだここにいる。

ここに居たい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2120a/>

---

同僚

2010年10月12日07時17分発行